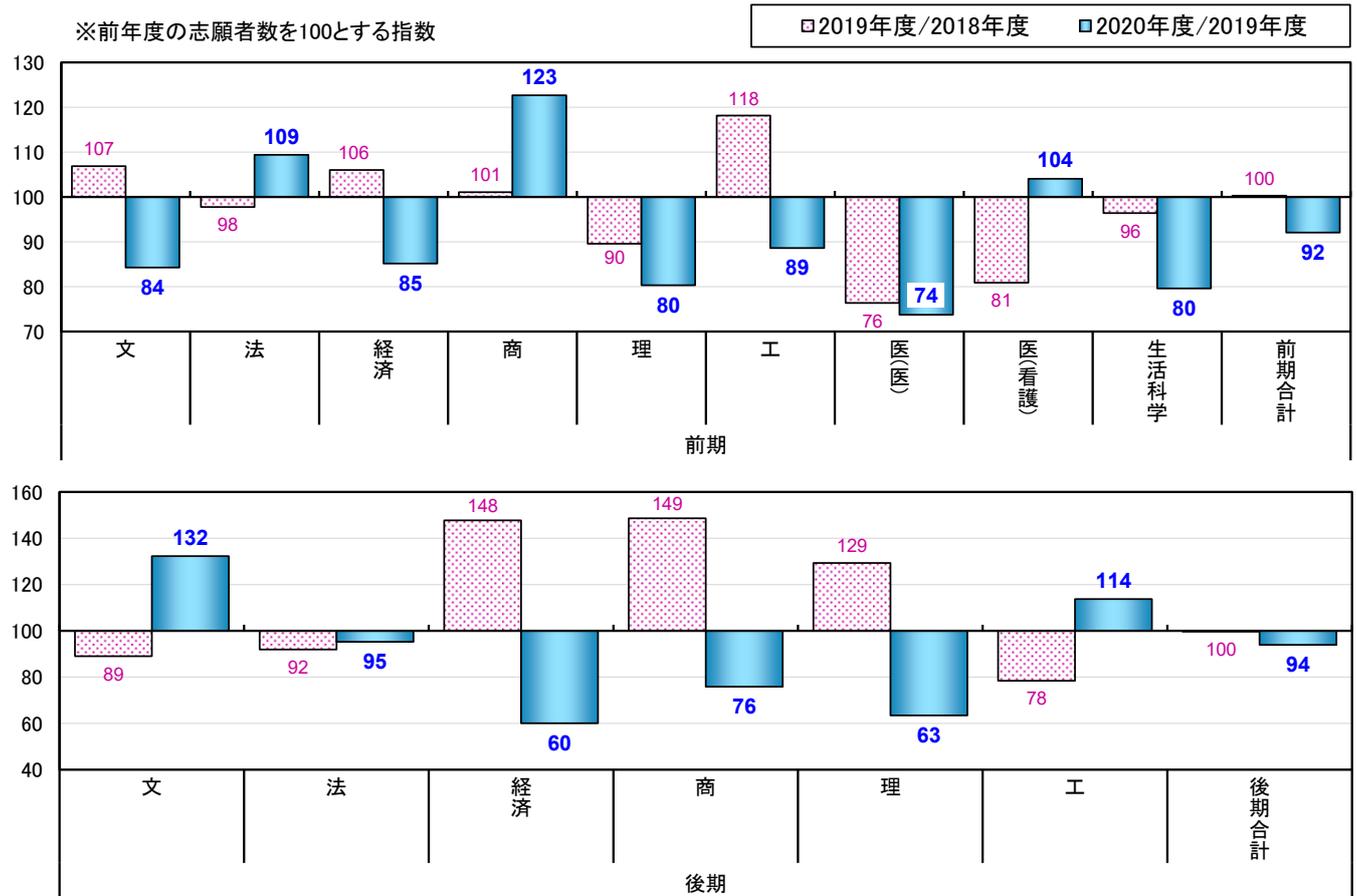


2020年度入試状況分析【国公立大】

大阪市立大：前期は減少、後期はやや減少

前期：-292人 後期：-147人



入試変更点 募集人員：理(化学)＜前＞…27人→31人
 (数学)＜前＞…18人→19人、＜後＞…6人→8人
 (生物)＜前＞…16人→18人、＜後＞…6人→7人
 (地球)＜後＞…3人→5人

COMMENT ※ ()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は297人(92)の減少、学部別では法、商の2学部のみが増加。後期も147人(94)のやや減少、学部別では文、工の2学部のみ増加。

＜前期日程＞

- 文(84)は、3年連続増加の反動で大幅減少。
- 法(109)は、2年連続減少の反動で増加。志願者数は400人台を回復。
- 経済(85)は、系統への人気低下もあり、大幅減少。
- 商(123)は、大幅増加で2年連続増加。
- 理(80)は、大幅減少で3年連続減少。志願倍率は2.9倍→2.2倍にダウン。募集単位別でも、全てが減少で(物理)(98)、数学(86)を除いて大幅減少。特に、＜理科選択＞(50)は半減。
- 工(89)は、前年度大幅増加の反動で減少。機械工(101)を除く5学科が減少。特に、(電子・物理工)(79)、(電子情報工)(80)は前年度大幅増加の反動で大幅減少。
- 医(医)(74)は、2年連続大幅減少。志願倍率は3.5倍→2.6倍にダウンし3倍を大きく下回った。
- 医(看護)(104)は、前年度大幅減少の反動は小さく、やや増加に留まった。
- 生活科学(80)は、大幅減少で2年連続減少。学科別では、3学科が全て減少し、特に(人間福祉)(72)、(居住環境)(80)は大幅減少。

＜後期日程＞

- 文(132)は、2年連続減少の反動で、大幅増加。
- 法(95)は、やや減少で2年連続減少。
- 経済(60)は、前年度5割近い大幅増加の反動で大幅減少。2015年度以降、大幅な増減が継続。
- 商(76)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。2016年度以降、前年度の反動による大幅な増減が継続。
- 理(63)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。2017年度以降大幅な増減が続いている。学科別では、(地球)(119)の大幅増加を除いた4学科は大幅減少。特に(数学)(55)、(生物)(56)、(化学)(59)は40%を超える大幅減少。
- 工(114)は、前年度大幅減少の反動で増加。学科別では、(化学バイオ工)(85)の大幅減少を除いた5学科は増加。特に、(都市)(144)、(建築)(123)は20%を超える大幅増加。